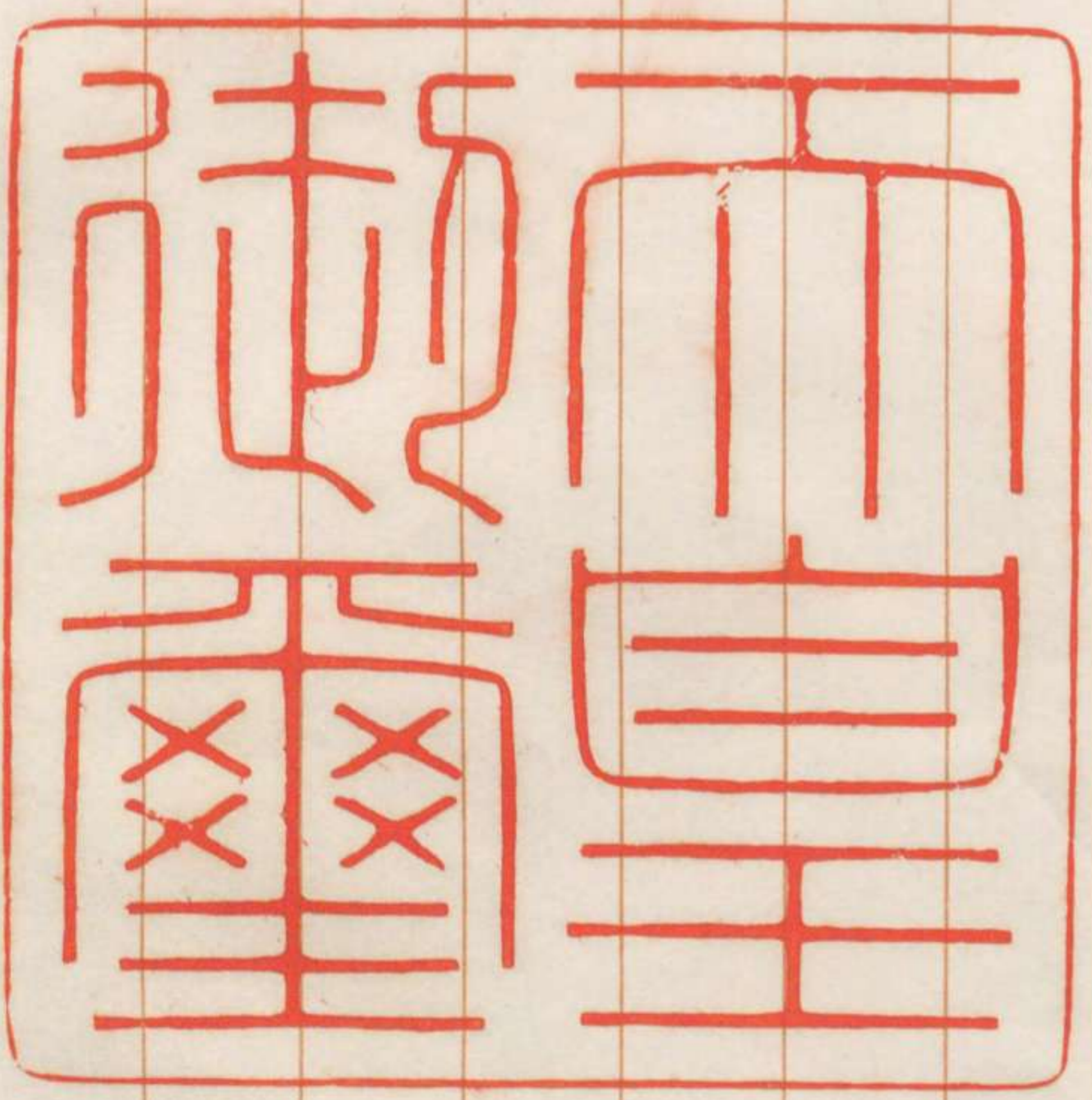


勅令第九十四號



朕工兵方面條例ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之
ヲ公布セシム

睦仁



明治二十二年七月十二日

内閣

内閣總理大臣伯爵黒田清隆
陸軍大臣伯爵大山巖

勅令第九十四號

工兵方面條例

第一條 工兵方面ハ要塞堡壘砲臺及附屬營造物ノ建築修繕監視其他之ニ關スル工兵事業ヲ掌リ歩工兵ノ工具材料ヲ調辦シ且工兵所屬地ノ事ヲ管轄スル所トス

第二條 工兵方面ハ之ヲ分テ二トス第一方面ハ本署ヲ東京ニ置キ第一第二第三ノ師管及北海道ヲ管轄シ第二方面

面ハ本署ヲ大阪ニ置キ第四第五第六
師管ヲ管轄ス

各管内要塞及重要ノ砲臺ニハ支署ヲ
置ク但支署ヲ設置スルトキハ陸軍大
臣之ヲ告示スヘシ

第三條 工兵方面ニ左ノ職員ヲ置ク

本署

提理 工兵大中佐一人

副提理 工兵少佐一人

署員 工兵大中尉四人

軍吏

支署

支署長 或ハ工兵大中尉一人

署員 工兵少尉一人若クハ二人

軍吏 一人

第四條 要塞砲臺ノ位ニ依リ大中尉

ヲ支署長ト為ストキ
他ノ士官及軍
吏ヲ置カサルコトヲ得

第五條 第三條ニ掲クル職員ノ外本支

署ニ工兵上等監護工兵監護技手及軍



面ハ本署ヲ大阪ニ置キ第四第五第六
師管ヲ管轄ス

各管内要塞
置ク但支署
臣之ヲ告
及重要ノ砲臺ニハ支署ヲ
設置スルトキハ陸軍大
ヘシ

第三條 工兵
方面ニ左ノ職員ヲ置ク

本署

提理 工兵大中佐一人

副提理 兵少佐一人

署員 大中尉四人



軍吏 一人

支署

支署長 工兵少佐或ハ工兵大中尉一人

署員 工兵大中少尉一人若クハ二人

軍吏 一人

第四條 要塞砲臺ノ位置ニ依リ大中尉
ヲ支署長ト為ストキハ他ノ士官及軍
吏ヲ置カサルコトヲ得

第五條 第三條ニ掲クル職員ノ外本支
署ニ工兵上等監護工兵監護技手及軍

内 局

吏部書記若干人ヲ置ク

第六條 提理ハ陸軍大臣ニ隸シ方面ノ事務ヲ總理シ管掌ノ事務ニ於テハ其責ニ任ス

第七條 副提理ハ提理ヲ補佐シ方面ノ事務ヲ整理ス

第八條 支署長ハ提理ニ屬シ要塞砲臺ニ在テ工兵方面ノ事務ヲ分擔ス

第九條 署員軍吏ハ提理及署長ノ命ヲ受ケ各事務ヲ分掌ス

第十條 支署長ハ戰時及事變ニ在テハ要塞若クハ砲臺司令官ノ指揮ヲ受ケ工兵諸般ノ勤務ニ従事スヘシ

第十一條 要塞堡壘砲臺ノ改築其他防禦上必要ト認ムル事項アルトキ提理ハ要塞若クハ砲臺司令官ト熟議ノ後陸軍大臣ニ上申スルコトヲ得

第十二條 工兵隊ヲ以テ工業ニ従事セシムヘキ命アルトキハ提理ハ該隊長ニ工事施設ノ方法ヲ指示スヘシ

第十三條 提理ハ工事ニ關シ必要ト認
ムルトキハ本支署ノ官僚ヲ彼此應用
スルコトヲ得

第十四條 方面本署及支署ニハ各其所
管ノ要塞堡壘砲臺ノ圖面並ニ其周圍
ノ地圖ヲ備フヘシ